## 継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	成人式事業						01804
部 名	生涯学習部	課名	生涯学習・スポーツ 課	係 名	生涯学習係	部課コード	120100

## 1. 事業概要

総合計画コード	3211	21	142				
事業年度	年度 ~	Н	年度	事業類型	<u>.</u>	● ソフト事業	○ハード事業
法令等の義務付け	○法令等(市条例·要 ●義務と任意の両方を ○任意(市条例·要綱	を含んでいる	5事業	られている事業		见法令等(法律、条例 5成人式開催要領	、要綱など)>
めざす 目的成果	新成人が式典に参加することにより、社会人としての自覚を持って自立して生きていこうとする姿勢を励ましていく。						
事業内容	毎年、成人の日に朝	<b>霞市成人</b> 云	で実施する	5.			
事業手法	□ 市の完全な直営 新成人、青少年相談			金、交付金等を含めて、		✓ 市民等との協働 する。	□補助金交付

## 2. 実施結果

H28年度の 事業の実施内容 成人の日に市民会館大ホールにて、新成人、青少年相談員、東洋大学管弦楽団の協力を得て、朝霞市成 人式を開催した。

		単位∶千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]~[ホ]		1,641	1,570	1,643	
		[イ]国庫支出金				
	財源内訳	[口]県支出金				
		[ハ]地方債				
		[二]その他				
		[木]一般財源	1,641	1,570	1,643	
	b 人件費		4,030	5,130	4,397	
	総コスト( a 事業費 + b 人件費 )		5,671	6,700	6,040	
投入労働量		常勤職員等(人工)	0.55 人	0.70 人	0.60 人	
		一般職非常勤職員等(時間)	0 時間	0 時間	0 時間	

a 事業費 (H28年度決算見 報償費 780千円

需用費 403円 役務費 78千円

委託料 309千円 備品購入費 込)の執行内訳 73千円 合 計 1,643千円

指標名		単位	H28目標·計画	H29目標·計画	H30目標·計画	最終目標•計画		
	1日1宗-12		平位	(H28実績見込)	(H29実績見込)	(H30実績見込)	目標年度	
江	活 ① 成人式	<b>武人</b>	%	67.0	67.0	67.0	67.0	
活		从八八多加平		( 64.2 )	( – )	( – )	H <u>32</u> 年度	
動	2							
3/)	到 (2)			(	( – )	( – )	H 年度	
成	1	① 成人式満足度	%	71.0	71.0	73.0	75.0	
风	从八八间是反	70	( 72.4 )	( – )	( – )	H <u>32</u> 年度		
果	2							
_				(	( – )	( – )	H 年度	

3. 事務事業の分析 判定 OA 必要性が高い ● B 必要性がある程度認められる C 必要性が低い ↑社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される ─ サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている 必要性 □法令等により、市に実施が義務付けられている ] 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる (市が関 □ 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい 与する必 √その他 要性はあ <説明> るか) 新成人を祝うため、全国的に開催している式典であり、また、市が実施することで、一人一人が社会で必要とされている ということを認識していただくと同時に、成人としての自覚を促す効果もあり、必要性は高い。 判定 OA 目標よりも大きな成果が得られた OB 概ね目標の成果が得られた ○ C 目標とする成果が得られなかった □活動指標の目標を達成した 達成度 ▽成果指標の目標を達成した ☑指標に表れない事項について目標を達成した (事業の □その他 目標は達 <説明:指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 成した 例年課題となっている会場に入り切れない新成人や式典を見たい家族のため、昨年に引き続きリハーサル室にモニ か) ターと音響装置、椅子等設置し、式典の様子を生中継で見ながら参加できる会場を設けたところ、大変好評であった。 今後も、成人式の記念誌や当日の式典運営などを工夫すると共に、SNS等も活用し、事業の目標達成に努める。 <説明:留意した点について記入> 留意点 思いやり:会場に入れない新成人や同行の家族のため、式典の様子を生中継で見ながら参加できる会場を設けた。 参加と恊働:SNSを活用し、成人式の情報発信を行い、多くの新成人が参加できるよう努めたほか、市内各中学校の卒業生等で構 (政策の立 成する成人式記念誌編集委員に、式典の進行・運営にも関わっていただいた。 案・推進に 経営的な視点:新成人の増減の動向を注視し、第2会場の設営や市民会館大規模改修を見据え、今後の会場を選定を行った 際して) 判定 〇 I 見直す余地がない ● II 見直す余地がある程度認められる □ II 見直す余地がある □民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある ☑ 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある 見直し ▽ サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある。 余地 ─ 受益者負担のあり方について見直す余地がある (事業の ▽ 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある 内容、実 □投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある 施手法等 一その他 は適切 <説明> か) 式典の運営、記念誌の校正など、新成人が参加して満足できる、成人式事業となるよう努める。 4. 今後の展開方針〔課としての判断〕 | ● A 市で継続実施 ◯ B 休止·廃止 (実施時期 : □H28年度から ☐ H29年度から ☐ H30年度から <mark>(実施時期 : □H28年度から</mark> 事業の方向性 ○ C 民営化 □ H30年度から ) □ H29年度から (実施時期 : □H28年度から ○ D 国·県に移譲 ☐ H29年度から □ H30年度から ) ○E終了 (実施時期 : □H28年度まで □ H30年度まで
) 成果の方向性 ○ A 拡大 B 現状のまま ○ C 縮小 投人資 事業費 ○ C 縮小 ○ A 拡大 B 現状のまま 源の方 労働費 ○ C縮小 ○ A 拡大 B 現状のまま 向性 ● A 見直して継続 ○ B 現状のまま継続 (実施時期 : H ■ 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大 年度) 今 後 年度) 業務プロセス改善 (実施時期 : H の <u>対象・水準等の見直し</u> (実施時期 : H 年度) 見直しの方向性 取 受益者負担の見直し (実施時期 : H 年度) 組 方

間に 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) ☑ 市民等との協働を今後導入・拡大 (実施時期 : H 29 年度) ✓ その他 (実施時期 : H 29 年度) 方針 成人式記念誌編集委員の意見も参考にしながら、多くの新成人が参加して良かったと思える式典の開 (次年度の改善内 催、運営に努めていく。なお、平成29年度成人式については、ゆめぱれす「市民会館のホールが耐震補 容等を含めた具体 強工事により使用できないため、和光市のサンアゼリアに会場を移して開催する予定であることから、周 的な事業の展開方 知を徹底し、よりスムーズな式典運営に努めたい。 針)

針